

## H29年度 指導案の書き方について



秋田県立聴覚支援学校研究部

# 学習指導案の書き方

H29.5 研究部

## 1 確認事項

- (1) 細案の形式はA 4版 4ページとする。(片面で1ページとする。教室の配置図も含む。)
- (2) 略案の形式はA 4版 2ページとする。(片面で1ページとする。)
- (3) 余白は上下を2.0cm, 左右を2.5cmとする。
- (4) 文字は全て10.5ポイントのMS明朝とする。
- (5) タイトルはMS明朝太字とする。 (例) 高等部産業技術科第1学年
- (6) 各見出し(1単元 2単元の目標などと5(3)の「評価規準」(方法))は、HGPゴシックEとする。
- (7) 語句及び語句の表記は、『平成29年度「学校教育の指針(用語例)」』で統一する。

## 2 学習指導案の項目の解説

### (1) 単元・題材(教材)名

- ・「単元」は、複数の教材で構成された学習活動である。  
社会・理科・外国語は「単元」で表記する。
- ・「教材」は、単元に含まれる教材のことである。  
(例) 国語科 単元名「学びをひらく」教材「にじの見える橋」「春にうたう」等
- ・音楽、図画工作、家庭、美術、技術・家庭科は、単元を「題材」という。
- ・産業技術科・情報デザイン科においては、「題材」という。
- ・道徳では、単元を「主題」という。教材のことを「資料」という。

※記入する内容に関しては、学習指導案の形式を参照

### (2) 題材(教材)・単元名の目標

- ・どのような力をどのような学習活動を通して身につけるよう指導するのかを簡潔に記述する。
- ・目標の観点によって、語尾を使い分ける。
- ・観点は、領域・教科を合わせた指導(生活単元学習や作業学習等)では記入しなくともよい。
- ・自立活動は「必要な項目の選定」を記入する。

(例) 「関心・意欲・態度」・・・～しようとしている。  
「知識・理解」・・・～が分かる。理解している。  
「思考」・・・～している。考えることができる。  
「技能」「表現」・・・～することができる。

### (3) 題材(教材)・単元名と幼児・児童・生徒

- ・コミュニケーションの実態は、授業でのコミュニケーションの様子について簡潔に記入する。ただし「主なコミュニケーション手段は、〇〇です。」という書き方はしない。
- ・記入の際には、「個別の指導計画A〈自立活動〉」を確認し、必要な事項を記入する。

### (4) 指導計画について

- ・各学部の研究テーマが反映された学習指導が展開されているか、目標を達成するために工夫された構成になっているかを考えて計画する。
- ・各教科の特性や授業者の考えのもと「次」の欄の記載を考える。「時数」のみでも可。
- ・【観点】は、「各教科の評価規準の観点一覧と記入例」を参照。

### (5) 本時の実際について

#### ①展開について

- ・学習活動は、実際に行うことを幼児・児童・生徒の立場から記入する。
- ・「学習のめあて」「学習の目標」「学習課題」等の使い分け方を、学部で確認しておく。
- ・「教師のはたらきかけ」に記入する自立活動的配慮点に関しては、「個別の指導計画A〈自立活動〉」を見て、生徒の実態や自立活動において育てたい力を確認すること。また、各教科の授業チェック表、及び「授業の際の自立活動的な配慮事項」(自立活動部発行)も参照。
- ・〈方法〉は、何に基づいて評価するかを記入する。

〈記述例〉 ・ 行動観察 ・ レポート ・ ワークシート ・ 発言 ・ テスト・ノート 等

#### ②教師側の評価について

- ・本時のねらいを達成させるための教師の手立てについて評価する。
- ・語尾は「～だったか。」「～したか。」等、疑問形で統一する。

### 添付資料について

- ・板書計画、教科書のコピー、本時で使用するプリント、各教科のチェック表(細案に添付)
- ・研究に関する補足資料(各研究班で必要に応じて添付)

学習指導案（細案）の形式

MS 明朝・太字

\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_ 学科 第 \_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ ○○科（高等部は科目名）学習指導案

※高等部の場合

※（グループ名は不要、学年のみの表記とする）

日 時：平成 29 年 ○ 月 ○ 日（○）○校時

場 所：

指導者：T1○○ T2○○

※Tが一人の場合は氏名のみ

教科によって、「単元名」「題材名」「教材名」とする～以下4 まで同様

1 単元名・題材（教材） ○○○○○○○○○○○○○○○○○○（教科書名 出版社）

2 単元・題材（教材）の目標

- (1) .....【観点】
- (2) .....【観点】

□複数ある場合は、(1) (2) を使用する。1 つの場合は,必要無し。

□目標の観点を【 】内に記入する。観点は、「各教科の評価規準の観点一覧と記入例」を参照。

3 幼児児童生徒と単元・題材（教材）

(1) 幼児児童生徒観

【記述する内容】

- （グループの場合は）グループの実態
- コミュニケーションの実態
- 本単元・題材（教材）に関連した自立活動の実態及び配慮点（発音・聴覚活用・言語等）
- 本単元・題材（教材）に関連した学習の内容や定着度
- 本単元・題材（教材）についての興味・関心・意欲の程度及び生活体験上の予備知識
- 本単元・題材（教材）の目標から見た現状や課題

スケールアウトの場合

氏名	平均聴力（右・左）	装用閾値（0.5・1・2kHz）
A 男	個別の実態	個別の実態
	○○dB・○○dB ・個別の実態を記入する。	○○dB・○○dB・○○dB
B 子	人工内耳の場合	人工内耳の場合
	C I・○○dB	○○dB・○○dB・○○dB

※ 個別の場合は、略案の表を参照

(2) 単元・題材（教材）観

【記述する内容】

- 本単元・題材（教材）の特徴
- 取り上げた理由や、学習を進める上で中心となる事柄
- 日常生活との関連性
- この学習の後にどのような力をつけることが期待できるか等

(3) 指導観

- 上記の(1) (2) を踏まえて、この学習内容を、この実態の幼児児童生徒に、どのように指導していくかを記入する。
- 指導の留意点も記入する。
- 主体性を引き出す手立ても含めて記入する。

#### 4 指導計画（〇時間扱い）

次	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準【観点】〈方法〉
1	1	<input type="checkbox"/> 学習活動は、幼児児童生徒の立場から記入する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">【本時】と入れる</div>	<input type="checkbox"/> 指導者の立場の記入とする。 <input type="checkbox"/> 目標を達成できるように指導するための手段や指導者の工夫を具体的に記述する。	<input type="checkbox"/> 文末は、 <u>単元・題材（教材）の目標の観点に合わせる。</u> 例：米作りの適した自然条件や人々の努力について情報を集めようとしている。【感・意・態】 〈発表・ワークシート〉
	2			
	3			
2	4	【本時】	※本時は太枠で囲む。	
	5			
3	6			
	7			

#### 5 本時の実際（本時 ○/○）

(1) 本時の目標 ..... 【観点】

指導計画の評価規準と整合するように書く。

(2) 個別のねらい

A男：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

B子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

- 観点は記入しなくともよい。
- 個別の授業の場合は、個別のねらいは削除する。
- ねらいが同じである幼児児童生徒は、まとめてもよい。  
例) A男・B子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

- ・「◇」と「◆」は対応させて書く。
- ・「◇」は「◆」（配慮事項）を行うことで、教師のねらいに近づくと思われる姿や発言に付ける。

各学部の学習活動の構成を簡潔に明記  
(例：つかむ-見通す-考える等)

(3) 展開

「・」予想される幼児児童生徒の姿/教師のはたらきかけ 「◇」主体性につながる姿 「◆」配慮事項

時間	過程	学習活動	予想される幼児児童生徒の姿	教師のはたらきかけ
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学習のめあて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">主な発問</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価規準 〈方法〉</div>
	1	○○する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             学習のめあて、学習課題を幼児児童生徒向けの言葉で提示する。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児児童生徒の予想される反応を記入する。</li> <li>○行動・反応 〈書き方〉</li> <li>・ 具体的な反応や行動を記入する。 例) ・～を探す、読む、選択する。 ・～を行う、操作する。等</li> <li>○会話・発言(「<u>          </u>」表記) 〈書き方〉</li> <li>・ ～と答える、伝える、話す、言うなどの表記は省く。 例) ・「なぜ～だろう。」 ・「～かもしれない。」 ・「～と思う。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動や幼児児童生徒の予想される反応に対する教師のはたらきかけを記入する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>評価規準の書き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価規準が異なる場合はA男、B子と分けて記入するが、同じ場合はA男、B子の記載はしない。</li> <li>・ 具体的に記述する。</li> <li>・ 語尾は指導計画や単元・題材(教材)の評価規準と整合すること。</li> </ul> <p><b>評価の方法の書き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈発言の内容〉</li> <li>・ 〈ワークシートの記述〉等</li> </ul> </div>
	2	○○する。 <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 30px; margin-top: 10px;"></div>		

本時の目標につながるような発問を記入する。

(4) 教師側の評価